

(6) 歯・口腔の健康

項目	評価指標	策定時のベースライン値	中間評価	最終評価（最新値）	（変更前）目標値	目標値	データソース	評価	項目評価
①口腔機能の維持・向上（60歳代における咀嚼良好者の割合の増加）	60歳代における咀嚼良好者の割合	73.4%	72.6%	71.5%	/	80%	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	C	C
		平成21年	平成27年	令和元年	/	令和4年度			
②歯の喪失防止 ア 80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	80歳で20歯以上の自分の歯を有する者の割合	25.0%	51.2%	/	50%	60%	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	E	
		平成17年	平成28年	/	令和4年度	令和4年度			
イ 60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合の増加	60歳で24歯以上の自分の歯を有する者の割合	60.2%	74.4%	/	70%	80%	厚生労働省「歯科疾患実態調査」	E	E
		平成17年	平成28年	/	令和4年度	令和4年度			
ウ 40歳で喪失歯のない者の割合の増加	40歳で喪失歯のない者の割合	54.1%	73.4%	/	/	75%	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	E	
		平成17年	平成28年	/	/	令和4年度			
③歯周病を有する者の割合の減少 ア 20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合の減少	20歳代における歯肉に炎症所見を有する者の割合	31.7%	27.1%	21.1%	/	25%	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	A	
		平成21年	平成26年	平成30年	/	令和4年度			
イ 40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	40歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	37.3%	44.7%	/	/	25%	厚生労働省「歯科疾患実態調査」	E	E
		平成17年	平成28年	/	/	令和4年度			
ウ 60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合の減少	60歳代における進行した歯周炎を有する者の割合	54.7%	62.0%	/	/	45%	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	E	
		平成17年	平成28年	/	/	令和4年度			
④乳幼児・学齢期のう蝕のない者の増加 ア 3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県数の増加	3歳児でう蝕がない者の割合が80%以上である都道府県数	6	26	44	23	47	厚生労働省実施状況調べ（3歳児歯科健康診査）	B	B
		平成21年	平成27年	平成30年	令和4年度	令和4年度			
イ 12歳児の一人平均う歯数が1.0歯未満である都道府県数の増加	12歳児の一人平均う歯数が1.0歯未満である都道府県数	7	28	37	28	47	文部科学省「学校保健統計調査」	B	
		平成23年	平成28年	令和元年	令和4年度	令和4年度			
⑤過去1年間に歯科検診を受診した者の割合の増加	過去1年間に歯科検診を受診した者の割合	34.1%	52.9%	/	/	65%	厚生労働省「国民健康・栄養調査」	E	E
		平成21年	平成28年	/	/	令和4年度			